

全国ユニオン 芳野友子連合会長を 招いて「連合 出前対話」を開催！

連合の芳野友子会長が全国ユニオンを来所して、直接対話を行う「出前対話」を6月6日に開催しました。

当日は四谷のユニオン運動センターで活動する各ユニオンに加え、オンラインで鈴木剛会長も病床から参加。いたみワーカーズコープの高木哲次理事長も参加しました。連合からの参加は芳野会長に加え、村上陽子副事務局長ら計4人が参加しました。

全国ユニオンの活動をもっと知っていただきたいと考え、冒頭で鈴木会長の挨拶に続き、約20年に及ぶ全国ユニオンの活動の概要、そのうえでの連合に対する要望を直接伝えました。特に、連合に寄せられた相談が全国ユニオンに紹介されて実現した組織化は20年の間一度もなく、特定の産別に偏っているという印象であること、男女間の格差は依然として存在するものLGBTQをジェンダー平等の中心に置くべきであること、実現に向けて会期中であった国会での国民民主党の振る舞いに不信を持っていること、など当日は、いろいろな角度から話をしました。また、地域行っている生活困窮者の対策の取り組みについて、いたみワーカーズコープから報告しました。

連合の会長が各産別を回って直接対話することは、過去にも実施されています。これまでもそうですが、すべてにおいて一致できるわけではなく、違和感の残るところはあります。それでもこうして、直接、対話を行うことで、思いがけず踏み込んだ答えが返ってくることもありました。

もちろん、今回、連合に伝えた要望はすぐに実現できることばかりではありません。それでもこの日をきっかけにして少しずつでも、いろいろなことが動くようにしたいと考えています。

